平成21年度(2009年度) 施政方針(要旨)

2月那覇市議会定例会で翁長市長が述べた新年度(平成21年度)の施政方針の要旨を掲載します。

(全文は那覇市ホームページでご覧になれます)
http://www.city.naha.okinawa.jp/

平成21年(2009年)2月那覇市議会定例会の開会にあたり、予算案をはじめとする各議案の説明に先立ちまして、私の市政運営に関する所信を申し上げ、市民のみなさまはじめ、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと思います。

はじめに

国内では景気回復への取り組みが大きな課題となっております。その他、石油価格の変動や環境、健康、食糧、年金、医療問題など、住民生活に直結した課題が山積しています。

このような厳しい環境に対応していくためには、引き続き行財政改革に取り組むとともに「市民と市民が支えあう」、「市民と行政が支えあう」、「協働のまちづくりのしくみを創っていくことが必要であると考えております。

3期目にあたりましては、"DO協働!-それ行け営業部長"をキャッチフレーズに、私が地域に出かけ、「市民と市民が支えあう」、「市民と行政が支えあう」、「協働のしくみをつくり、全力を傾けていきます。

更に、「那覇市民大学」を開設し、市民との直接対話を増やして、市民の行政への関心や理解を高めながら、自治を推進していきたいと考えています。

重点政策としては、環境、健康、こども・教育、観光、高齢者の5つのKを重視し、これを「協働」によりしっかり支えていく所存であります。

協働のまちづくり

これまでの「市民との協働によるまちづくり」の実践としては、自治会やボランティア団体、NPO、企業などの幅広い方々と協定書を交わし、公園・道路管理ボランティア、学習支援ボランティア、特定健診受診率向上活動などに取り組むとともに、協定以外の活動としては、地域での防犯活動や支えあいマップづくり、地域課題解決のためのワークショップなど様々な分野、場面で活動が展開されてきました。

協働の事例は着実に増えてきましたが、私の蒔いた協働の種は、市内各地で、また各分野で芽を出したところであり、その成果は言わばまだ「点」の状態です。私の目指す協働によるまちづくりは、様々な点と点が結びつき、線になり、最終的には面になることをイメージしています。

平成21年度は、行政の政策・施策づくりなどのプロセスに市民が参画できるよう、「市民と行政との協働のルールづくり」も実施します。

平和への思いの継承

本県は、戦後60余年が経過しましたが、基地に付随する事件・事故などの問題や基地の整理・縮小の課題を有しております。

本市においては、これらの問題や課題を踏まえて、平和への思いを次の世代へ伝えていきたいと考えています。

不発弾処理問題については、本県では未だに多くの不発弾が残存しており、糸満市での不発弾爆発事故等を踏まえると、国に対し、磁気探査の完全実施も含め、不発弾除去関連作業の全面的な国の負担と、事故による被災者への補償制度の創設などについて、県や関係市町村と連携し、早急に要請等を行っていきます。

環境に関すること

本市は、これまで「ゴミ問題」に粘り強く取り組み、新最終処分場の建設や新ごみ焼却炉の建設等の整備をはじめ、ごみの減量化についても、市民との協働により大きな成果を得ることができました。

また、二酸化炭素の排出が少ない「低炭素型都市づくり」に向けて、庁内組織の連携を強化するとともに、「那覇市地球温暖化対策協議会」での活動等、市民・事業者と協働した取り組みを推し進め、持続可能な社会づくりを目指します。

市民の健康づくりと高齢者の生き甲斐づくり

国が示す「平成24年度における国保被保険者の特定健診目標受診率65%達成」を指し、受診率の向上と保健指導の強化を図っていきます。

市民の主体的な健康づくりを推進するため、「健康なは21」の普及啓発を行うとともに、設定した目標値の達成状況を確認し、中間見直しを実施します。

高齢者の生き甲斐づくりとしては、高齢者が気軽に出かけられるよう、70歳以上の市民を対象とした土・日と休日のモノレール1日乗車券の割引制度を新たに実施します。

子育て支援と子どもの健全育成

子育て支援として、乳幼児医療費の入院助成対象年齢を、これまでの小学校就学前までから中学校卒業時まで拡大します。

母体と胎児の健康を守るため、妊婦健診を14回に拡大するとともに、その費用を全額助成します。

生後4ケ月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て情報の提供、養育環境の把握等を行う「こんにちは赤ちゃん事業」を完全実施します。

学校教育については、小中一貫教育の制度の導入に向けて、調査・研究に取り組んでいきます。

市立小・中学校全53校においては、地球温暖化防止対策と環境教育の面から、緑のカーテン関連事業としてゴーヤーなどの植栽を実施します。

観光の振興と中心商店街の活性化の促進

奥武山野球場の整備に伴い、読売巨人軍が平成23年2月の春季キャンプを本市で実施することが決まり、観光客が増えることによる経済効果が高まることや、子どもたちに夢と希望を与えることなどの効果が期待できます。

若狭地先における大型旅客定供用される予定であり、諸外国からの観光客の受け入れ体制の整備を図っていきます。

中心商店街の活性化に向けて、事業者の主体的なアイデアや実践的な取り組みを支援していくため、平成21年度「那覇市頑張るマチグヮー支援基金」を創設するとともに、その基金を活用して、中心商店街やマチグヮーの活性化に寄与する事業を支援していきます。

企業誘致と雇用の創出

企業誘致については、情報産業に関するプログラム開発とコンテンツ制作など、高度で付加価値の高い情報関連企業の誘致に努めていきます。

中小企業への緊急支援としては、緊急融資制度を積極的に活用し、雇用の維持・確保を図っていきます。

中小企業振興基本条例につきましては、今後、中小企業関係団体等と条例の内容等を調整しながら、制定作業に取り組んでいきます。

基幹インフラ整備と快適なまちづくり

老朽化が進む学校校舎、市営住宅、市庁舎の建替えや市街地再開発事業、土地区画整理事業など快適で魅力ある都市基盤の整備を推進します。

都市モノレールの延長整備については、首里駅より西原町入口までの延長が決定し平成21年度は今後の事業化に向けた調査等を予定しています。

那覇空港の拡張整備については、早期の拡張整備実現に向けて、国、県と連携し取り組みます。

平成21年度予算編成

平成21年度予算案は、一般会計予算は、1,143億5,400万円で、対前年度比4,300万円、0・04%の微増となっています。

企業会計を除く特別会計予算は、総額595億3,765万円で対前年度比20億5,916万円、3・34%の減となっています。

一般会計予算の収支不足額につきましては、財政調整基金および減債基金を20億8,732万円取り崩して対応しています。

特別会計予算の減額の要因は、市街地再開発事業特別会計の事業費の減等によるものです。

主要事業の説明

協働によるまちづくり

市民参加の市政運営を推進するため、「跳びだせ!市長室」、「市長リレー出前トーク」などの実施を通して、公聴、啓発、提案の場づくりを拡充するとともに、引き続き「協働大使」の新規委嘱を行います。

「那覇市ふるさとづくり寄付金」の浄財を活用し、「那覇市民大学」を開設します。

協働のまちづくりの進め方の指針となる「市民と行政との協働ルールづくり」を市民参加で行います。

幸せ感のあるまちの創出

所得や社会的格差などで差別を感じることなく人権が尊重され、心にゆとりを持って幸せな生活ができるように、人権啓発講演会や人権の花運動等で、啓発の機会や情報提供、相談体制などを充実させていきます。

平和交流・男女共同参画

旧軍飛行場用地問題は、旧小禄飛行場字鏡水権利獲得期成会の提案する「コミュニティセンター(仮称)建設事業」に着手します。当該施設については、首里駅より西原町入口までの延長が決定し平成21年度は今後の事業化に向けた調査等を予定しています。

那覇空港の拡張整備については、早期の拡張整備実現に向けて、国、県と連携し取り組みます。

平成21年度予算編成

平成21年度予算案は、一般会計予算は、1,143億5,400万円で、対前年度比4,300万円、0・04%の微増となっています。

企業会計を除く特別会計予算は、総額595億3,765万円で対前年度比20億5,916万円、3・34%の減となっています。

一般会計予算の収支不足額につきましては、財政調整基金および減債基金を20億8,732万円取り崩して対応しています。

特別会計予算の減額の要因は、市街地再開発事業特別会計の事業費の減等によるものです。

健康づくりと地域医療の充実

特定健診受診率を高めるため、土・日に受診ができる健診機関の拡充に努めるとともに、未受診者に対する電話や個別訪問による受診呼びかけ、集団健診の実施等に取り組みます。

保健ボランティアを養成・育成し、市民と協働して健康づくりに取り組みます。保健師・栄養士等による相談・教育・訪問指導の充実・強化も図っていきます。

平成20年度4月から後期高齢者医療制度が開始されたことに伴い、後期高齢者については健康診査および各種がん検診の自己負担額の助成がなくなったことから、後期高齢者に対し、市独自に健康診査及び各種がん検診の自己負担額を全額助成し、後期高齢者の健康増進を図ります。

地方独立行政法人那覇市立病院および病院輪番制による救急医療体制の維持を図るほか、同法人の中期目標・計画の達成に向けて、支援していきます。

地域の教育力の向上を目指して、家庭、学校、地域、企業との連携を強化し、市全体で教育に関することを考える機会として、「なは教育の日」関連事業を実施します。

奥武山野球場建設事業は最終年度にあたり、管理運営に向けて条例の整備を行います。

平成22年度全国高等学校総合体育大会開催に伴う本市開催の競技大会を円滑に運営実施するため、漫湖公園市民庭球場の改修整備を行うとともに、実行委員会・専門委員会を開催します。

子育て支援と就学前教育・保育

平成22年度を初年度とする「那覇市次世代育成支援行動計画」の後期計画を策定します。

久場川保育所を改築し、地域の拠点保育所として新たな子育て支援サービスを展開するとともに、各保育所での障がい児保育の受け入れ枠の拡大等、就学前の障がい児施策を充実します。

保育所入所待機児童解消に向け、着実な認可外保育施設の認可化促進を図ります。

衛生的な環境の確保

墓地行政を円滑に推進するために、「那覇市墓地等に関する基本方針(仮称)」の策定を行ないます。

生涯学習と地域の教育力の向上

牧志・安里再開発地区に生涯学習を推進する拠点施設として設置する「牧志・安里公民館図書館(仮称)」は、平成23年度の完成を目指しプラネタリウムの機種選定等を行います。

地域の教育力の向上を目指して、家庭、学校、地域、企業との連携を強化し、市全体で教育に関することを考える機会として、「なは教育の日」関連事業を実施します。

奥武山野球場建設事業は最終年度にあたり、管理運営に向けて条例の整備を行います。

平成22年度全国高等学校総合体育大会開催に伴う本市開催の競技大会を円滑に運営実施するため、漫湖公園市民庭球場の改修整備を行うとともに、実行委員会・専門委員会を開催します。

産業の振興

那覇市IT創造館を活用し、IT関連企業の創業支援と高度IT人材の育成を推進するとともに、情報通信関連企業を中心とした企業の誘致に取り組みます。

小規模事業者に事業資金を融通することによる、経営基盤の強化や安定のため、引き続き小口資金融資事業を行います。

那覇ハーリー、那覇まつり、琉球王朝祭り首里、NAHAマラソンなどの祭りやイベントの活用及びクルーズ船への対応を強化し、積極的に国内外の観光客を誘致します。

読売巨人軍春季キャンプ決定を受け、那覇商工会議所関係団体と連携し、キャンプ協力会を立ち上げます。

まちの活性化

「那覇市頑張るマチグヮー支援基金(1億円)」を活用し、地元商店街・通りの支が創意工夫する提案事業を支援します。

安全、安心で快適なまちを目指して、国際通り、沖映通りを路上喫煙禁止地区指定し、路上喫煙防止事業を一層推進していきます。

就労支援・相談体制

「なはし就職なんでも相談センター」を拠点として、就職相談及び各種セミナーを開催し、就職に必要な情報提供等、市民のニーズにあわせた就職支援を行います。

地域若者の自立支援に対しても機能を強化していきます。

自立を支援するサービス提供

障がい者の就労支援を推進するため、ジョブサポーターの養成・派遣事業を拡充します。

ホームレスの自立に向けて、巡回指導体制を強化するとともに、NPOと協働して居宅確保に向けた支援を行います。

地球環境への配慮

低炭素型の都市づくりを目指し、中長期目標を含む具体的な実施計画となる「地球温暖化対策アクションプラン」の策定を行い、将来的な削減方針を市民に示すとともに、環境都市宣言に向けた諸作業を推進します。

「住宅用太陽光発電導入促進助成事業」や「環境意識啓発講座(仮称)」等、市域の温室効果ガス削減に向けた取組みを推進します。更に、「低炭素都市推進協議会」へ参加し、低炭素社会づくりに向け国や他都市等と連携し国内共同の取組みを図ります。

資源循環型社会

本年度から旧ごみ焼却施設を解体撤去し、その跡地に「資源化推進センター(仮称)」の建設に着手し、ごみ資源化のための中間処理を一層促進します。

自然環境の保全・再生・創造

自然環境の保全・再生を進めるため「自然環境保全・再生事業」を引続き実施するとともに、緑豊かで良好な住環境の創出を図ります。

屋上および壁面緑化を行う市民に対し、施工費の一部を助成します。

衛生的な環境の確保

墓地行政を円滑に推進するために、「那覇市墓地等に関する基本方針(仮称)」の策定を行ないます。

生涯学習と地域の教育力の向上

牧志・安里再開発地区に生涯学習を推進する拠点施設として設置する「牧志・安里公民館図書館(仮称)」は、平成23年度の完成を目指しプラネタリウムの機種選定等を行います。

地域の教育力の向上を目指して、家庭、学校、地域、企業との連携を強化し、市全体で教育に関することを考える機会として、「なは教育の日」関連事業を実施します。

奥武山野球場建設事業は最終年度にあたり、管理運営に向けて条例の整備を行います。

平成22年度全国高等学校総合体育大会開催に伴う本市開催の競技大会を円滑に運営実施するため、漫湖公園市民庭球場の改修整備を行うとともに、実行委員会・専門委員会を開催します。

子育て支援と就学前教育・保育

平成22年度を初年度とする「那覇市次世代育成支援行動計画」の後期計画を策定します。

久場川保育所を改築し、地域の拠点保育所として新たな子育て支援サービスを展開するとともに、各保育所での障がい児保育の受け入れ枠の拡大等、就学前の障がい児施策を充実します。

保育所入所待機児童解消に向け、着実な認可外保育施設の認可化促進を図ります。

産業の振興

那覇市IT創造館を活用し、IT関連企業の創業支援と高度IT人材の育成を推進するとともに、情報通信関連企業を中心とした企業の誘致に取り組みます。

小規模事業者に事業資金を融通することによる、経営基盤の強化や安定のため、引き続き小口資金融資事業を行います。

那覇ハーリー、那覇まつり、琉球王朝祭り首里、NAHAマラソンなどの祭りやイベントの活用及びクルーズ船への対応を強化し、積極的に国内外の観光客を誘致します。

読売巨人軍春季キャンプ決定を受け、那覇商工会議所関係団体と連携し、キャンプ協力会を立ち上げます。

まちの活性化

「那覇市頑張るマチグヮー支援基金(1億円)」を活用し、地元商店街・通りの支が創意工夫する提案事業を支援します。

安全、安心で快適なまちを目指して、国際通り、沖映通りを路上喫煙禁止地区指定し、路上喫煙防止事業を一層推進していきます。

就労支援・相談体制

「なはし就職なんでも相談センター」を拠点として、就職相談及び各種セミナーを開催し、就職に必要な情報提供等、市民のニーズにあわせた就職支援を行います。

地域若者の自立支援に対しても機能を強化していきます。

自立を支援するサービス提供

障がい者の就労支援を推進するため、ジョブサポーターの養成・派遣事業を拡充します。

ホームレスの自立に向けて、巡回指導体制を強化するとともに、NPOと協働して居宅確保に向けた支援を行います。

地球環境への配慮

低炭素型の都市づくりを目指し、中長期目標を含む具体的な実施計画となる「地球温暖化対策アクションプラン」の策定を行い、将来的な削減方針を市民に示すとともに、環境都市宣言に向けた諸作業を推進します。

「住宅用太陽光発電導入促進助成事業」や「環境意識啓発講座(仮称)」等、市域の温室効果ガス削減に向けた取組みを推進します。更に、「低炭素都市推進協議会」へ参加し、低炭素社会づくりに向け国や他都市等と連携し国内共同の取組みを図ります。

資源循環型社会

本年度から旧ごみ焼却施設を解体撤去し、その跡地に「資源化推進センター(仮称)」の建設に着手し、ごみ資源化のための中間処理を一層促進します。

自然環境の保全・再生・創造

自然環境の保全・再生を進めるため「自然環境保全・再生事業」を引続き実施するとともに、緑豊かで良好な住環境の創出を図ります。

屋上および壁面緑化を行う市民に対し、施工費の一部を助成します。

衛生的な環境の確保

墓地行政を円滑に推進するために、「那覇市墓地等に関する基本方針(仮称)」の策定を行ないます。

生涯学習と地域の教育力の向上

牧志・安里再開発地区に生涯学習を推進する拠点施設として設置する「牧志・安里公民館図書館(仮称)」は、平成23年度の完成を目指しプラネタリウムの機種選定等を行います。

地域の教育力の向上を目指して、家庭、学校、地域、企業との連携を強化し、市全体で教育に関することを考える機会として、「なは教育の日」関連事業を実施します。

奥武山野球場建設事業は最終年度にあたり、管理運営に向けて条例の整備を行います。

平成22年度全国高等学校総合体育大会開催に伴う本市開催の競技大会を円滑に運営実施するため、漫湖公園市民庭球場の改修整備を行うとともに、実行委員会・専門委員会を開催します。

子育て支援と就学前教育・保育

平成22年度を初年度とする「那覇市次世代育成支援行動計画」の後期計画を策定します。

久場川保育所を改築し、地域の拠点保育所として新たな子育て支援サービスを展開するとともに、各保育所での障がい児保育の受け入れ枠の拡大等、就学前の障がい児施策を充実します。

保育所入所待機児童解消に向け、着実な認可外保育施設の認可化促進を図ります。

産業の振興

那覇市IT創造館を活用し、IT関連企業の創業支援と高度IT人材の育成を推進するとともに、情報通信関連企業を中心とした企業の誘致に取り組みます。

小規模事業者に事業資金を融通することによる、経営基盤の強化や安定のため、引き続き小口資金融資事業を行います。

那覇ハーリー、那覇まつり、琉球王朝祭り首里、NAHAマラソンなどの祭りやイベントの活用及びクルーズ船への対応を強化し、積極的に国内外の観光客を誘致します。

読売巨人軍春季キャンプ決定を受け、那覇商工会議所関係団体と連携し、キャンプ協力会を立ち上げます。

まちの活性化

「那覇市頑張るマチグヮー支援基金(1億円)」を活用し、地元商店街・通りの支が創意工夫する提案事業を支援します。

安全、安心で快適なまちを目指して、国際通り、沖映通りを路上喫煙禁止地区指定し、路上喫煙防止事業を一層推進していきます。

就労支援・相談体制

「なはし就職なんでも相談センター」を拠点として、就職相談及び各種セミナーを開催し、就職に必要な情報提供等、市民のニーズにあわせた就職支援を行います。

地域若者の自立支援に対しても機能を強化していきます。

市民に開かれた効率的な行政

ISO9001を市長事務部局全部署へ認証範囲を拡大したことにより、更なる市民サービスの充実強化を図ります。

市民サービス、事務能率の向上を目指した効率的な庁舎の実現を図るため新庁舎建設事業として、前年度に引き続き基本・実施設計を行い、年度内の工事着手を目指します。

それに伴い、新都心地区への本庁舎の仮移転を実施します。

住民記録、市税、健康福祉および財務会計などの新しい基幹系業務システムが本格的に稼働します。また、個人情報は、セキュリティを確保しつつ適切に管理していきます。

市民サービス向上のため、コンビニエンスストアにおいて、24時間納付ができる上下水道料金に続き、軽自動車税についても納付できるようにします。

文化行政の一元化の一環として、市民文化部歴史博物館と教育委員会の壺屋焼物博物館を市民文化部に統合します。

また、第一牧志公設市場のあり方を含め中心市街地の活性化のために、なはまちなか振興課を設置するとともに、経済観光部内の課の再編等を行います。

健康づくりと地域医療の充実

特定健診受診率を高めるため、土・日に受診ができる健診機関の拡充に努めるとともに、未受診者に対する電話や個別訪問による受診呼びかけ、集団健診の実施等に取り組みます。

保健ボランティアを養成・育成し、市民と協働して健康づくりに取り組みます。保健師・栄養士等による相談・教育・訪問指導の充実・強化も図っていきます。

平成20年度4月から後期高齢者医療制度が開始されたことに伴い、後期高齢者については健康診査および各種がん検診の自己負担額の助成がなくなったことから、後期高齢者に対し、市独自に健康診査及び各種がん検診の自己負担額を全額助成し、後期高齢者の健康増進を図ります。

地方独立行政法人那覇市立病院および病院輪番制による救急医療体制の維持を図るほか、同法人の中期目標・計画の達成に向けて、支援していきます